

## 演歌が沁みる私です

松下 幹生

きっとあなたは 帰ってくると  
約束をした 上野駅  
最終列車 窓に写った 私の顔が  
涙に滲み 歪んで霞む  
どこか見たよな 情景に  
演歌の歌詞が 頭をよぎる  
ああ 演歌が沁みる 私です

待てど暮らせど あなたは来ない  
便りもなく 待ちぼうけ  
あなたを追って 上野駅から 北国の街  
当てなき旅を 列車に揺られ  
雪が舞い翔ぶ 窓の外  
あなたを想い マフラーを編む  
ああ 演歌が沁みる私です

青森駅の 最終便で  
函館駅へ 走り出す  
あなたは北の 湊で船に 乗っているはず  
雪の函館 真夜中の駅  
泊まるところさえ わからずに  
追って来ました 最北の地へ  
ああ 演歌に浸る 私です